

特集2 自分の生活圏の状況を防災マップで確認しておきましょう

ゲリラ豪雨や台風による危険から命を守るために

昨年は、台風15号、19号と非常に大きな台風が2つ上陸しました。台風やゲリラ豪雨などの風水害から身を守るために、事前に避難行動を想定しておくことがとても重要です。特に浸水や土砂災害の危険がある場所に住んでいる人は、具体的な避難行動を考え、備えておきましょう。

西区防災マップを確認しましょう



区内の「浸水想定区域」と「土砂災害警戒区域」などを掲載した地図です。自宅、学校、職場など浸水や土砂災害の危険性を確認しておきましょう。

配布場所 総務課(51番窓口)

ホームページでは、日本語版に加え英語版、中国語版を公開

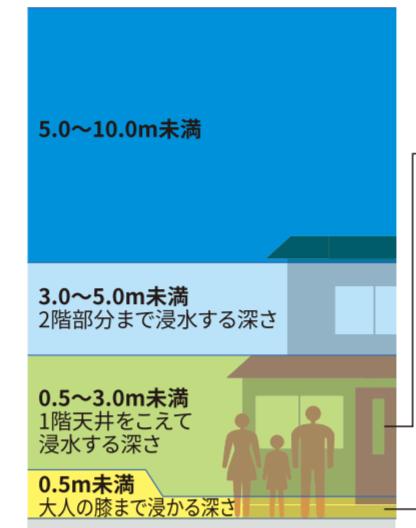


CHECK1

浸水想定区域

…河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域

浸水深のめやす



風水害時も隣近所の助け合いが大切です。

南浅間保育園では、隣接する西横浜ハイタウン自治会の協力のもと、同マンションへ避難することを想定した合同訓練を実施しています。



風水害でも停電や断水が発生する可能性があります。

日頃から備蓄品を準備しておきましょう。避難場所等へ避難する際にも、1~2食分の水や食料を持っていくと安心です。



CHECK2

土砂災害警戒区域

…急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民などの生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域



大雨で土に大量の水が浸みこむと、がけ崩れの発生する可能性が高くなります。

がけ崩れの前兆現象

- 小石がパラパラ落ちてくる
 - 斜面に亀裂が発生している
 - 斜面から湧き水が発生している
- などに気づいたら避難行動が必要です

CHECK3

即時避難勧告対象区域

…土砂災害警戒情報の発表とともに「避難勧告」が発令され、エリア内住民の避難行動が必要な区域

西区の即時避難勧告対象区域は、境之谷・西戸部町1丁目の一部です

土砂災害や浸水害の危険性が高まった場合に市や区が避難情報を発令します。情報収集の手段を確認しておきましょう。



滞在中の場所によって避難行動が変わってきます。自分や大切な人の命を守る安全行動を見てみましょう。

田中さん夫婦
浸水深 CHECK1 0.5m~3m未満の地域の木造2階建てに暮らす。

加藤さん家族
土砂災害警戒区域 CHECK2 のマンション2階に暮らす。

高橋さん
高台でがけ地のない木造住宅に住んでいます。

佐藤さん
浸水深 CHECK1 0.5m未満の地域の地下1階で飲食店を経営する。

鈴木さん夫婦
土砂災害警戒区域 CHECK2 の木造2階建てに暮らす。

林さん家族
即時避難勧告対象区域 CHECK3 のアパート1階に暮らす。

危険想定を考慮した垂直避難や水平避難など自宅でできる避難

大雨で川の水位が上がってきた。
どうする？



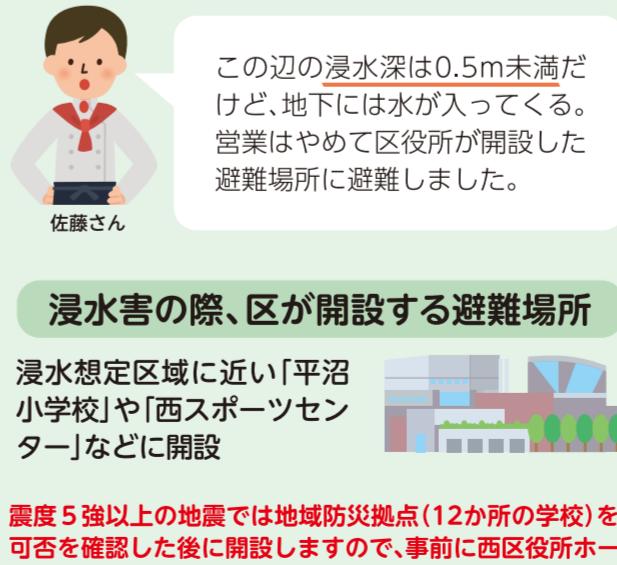
土砂災害警戒情報が出たけど、避難した方が良いかしら？



区役所が避難勧告を出したらしい。
私も避難するのかしら？



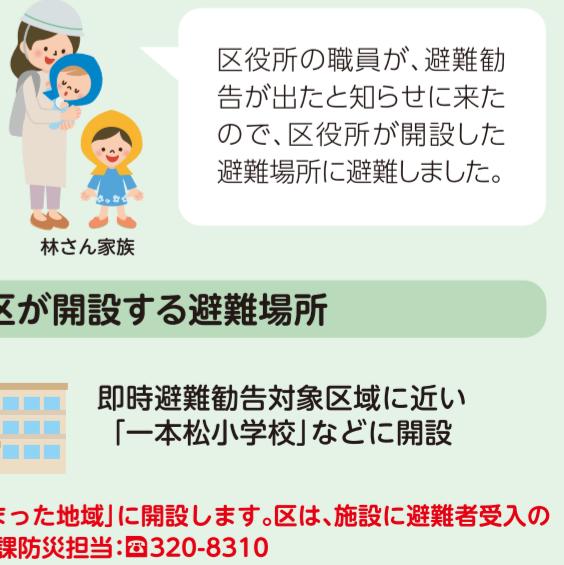
側溝から水が溢れている。避難勧告が出たらどうしよう？



がけから水が流れてきた。
大丈夫？

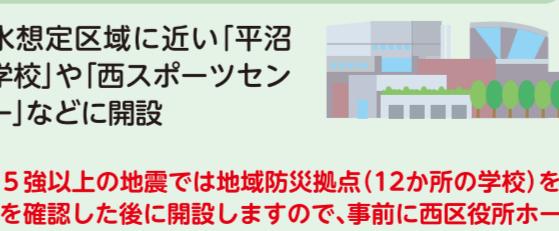


わが家は即時避難勧告対象区域。
どうしよう？

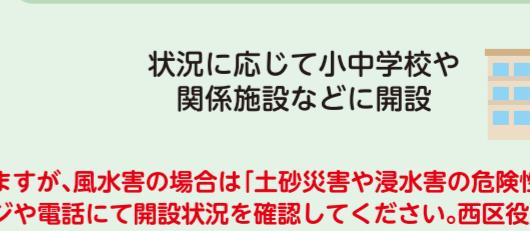


「土砂災害や浸水害の危険性が高まった地域」に開設する避難場所へ避難

この辺の浸水深は0.5m未満だから、地下には水が入ってくる。営業はやめて区役所が開設した避難場所に避難しました。



区役所に電話をしたら職員が来て現場を確認。区役所が開設した避難場所に避難しました。



区役所の職員が、避難勧告が出たと知らせに来たので、区役所が開設した避難場所に避難しました。

